

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	フランス語圏の社会 (Society in the French-speaking sphere)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	フランス語圏社会の形成とその背景		
担当者名 (Instructor)	平賀 裕貴(HIRAGA HIROTAKA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標 (Course Objectives)

フランス社会およびフランス語圏社会に歴史的・文化的視野から焦点を当て、そこに浮き彫りになるさまざまな問題を考察し、これらの社会を理解するための知識を身につける。

The aim of this course is to help the students focus on French and French-speaking societies from a historical and cultural point of view, consider the various issues and acquire the knowledge to understand these societies.

#### 授業の内容 (Course Contents)

普仏戦争から現代に至るまでのフランス社会において転換点となった各々の出来事を検討し、分析する。さらに旧植民地やフランス海外県の歴史の変遷を確認することで、社会的矛盾を含むさまざまな葛藤のなかで「フランス」がどのように形成されていったのかを把握する。授業では映像資料なども使用し、各テーマによりいっそう具体的に迫れるように図る。

This course deals and analyzes each event that was a turning point in French society from the Franco-Prussian War to the present day. Furthermore, by confirming the historical transition of the former colonies and overseas French prefectures, participants are expected to understand how "France" is formed in various conflicts including social contradictions. In the class, we will also use video materials to make each theme more concrete.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 普仏戦争と第三共和政
3. ユダヤ人の歴史とドレフュス事件
4. 第一次世界大戦
5. 第二次世界大戦、ヴィシー政権、レジスタンス
6. 学生たちの5月革命
7. ケベックと静かな革命
8. カリブ海、ネグリチュード、クレオール
9. 西アフリカ諸国と1960年
10. マグレブおよびアルジェリア戦争
11. 移民社会
12. フランスにおけるライシテ
13. シャルリー・エブド襲撃事件
14. 授業まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

授業で言及された資料・著作について調べて、可能なかぎり閲覧する。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

出席および授業参加度(60%) / 最終レポートおよび各種提出物(40%)

#### テキスト (Textbooks)

教材は授業時に講師が配布する。

#### 参考文献 (Readings)

授業時に随時提示する。

#### その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

